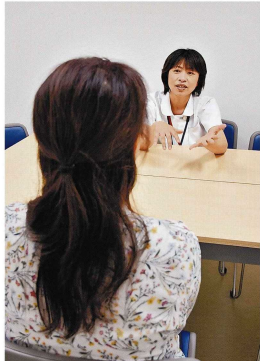


若年性認知症 支援の輪広がれ

50代主婦と看護師出会い 動き出した管内



相談のため北見赤十字病院を訪ねた50代の主婦(左)。看護師の福島恵美さんが親身に耳を傾ける＝25日

「誰かを助けたい、何かをしてあげたい、何かをやらせたい、何かをやらせたい」。

「たんぽぽ」地域とつなぐ。若年性認知症の当事者や家族の悩みを聞き、地域の人々との交流を促す。

65歳未満の働き盛りで発症する若年性認知症に対する支援のあり方が問われている。高齢者以上に地域や家庭への影響は大きい。

若年性認知症の当事者や家族の悩みを聞き、地域の人々との交流を促す。若年性認知症の当事者や家族の悩みを聞き、地域の人々との交流を促す。



認知症介護研究・研修東京センター 永田研究部長に聞く

本人同士 語り合える場を

認知症になっても生きていける。認知症になっても生きていける。認知症になっても生きていける。

オホーツク

- 北見支社 電話 090-8655
北見市幸町1丁目2番17 0157-24-4456
旭 25-7980
網走支局 0152-44-7211
美幌支局 0152-73-2018
津別支局 0152-42-2211
紋別支局 0158-24-2100



北見市内で今月9日に行われた研修会。医療・介護職員らが支援方法を話し合った

「たんぽぽ」地域とつなぐ。若年性認知症の当事者や家族の悩みを聞き、地域の人々との交流を促す。

道内外に電話相談窓口

若年性認知症と診断された場合、介護、障害福祉サービスのほか、所得の状況によって医療費が軽減される自立支援医療（精神通院医療）などの公的制度が利用できる。

Table with 2 columns: Service Name and Contact Information. Includes details for Oshima, Oshima, Oshima, Oshima, Oshima.

若年性認知症 65歳未満で発症する認知症。働き盛りの現役世代のため、家族の収入減や子育ての負担増など、高齢者以上に家族などへの影響が広がり、世帯単位で生活が困難になる。

電話相談を受け付けているほか、就労支援の手引きや、家族向けの介護ガイドブックなど、当事者や家族に役立つ各種冊子を発行し、希望者に提供している。

若年性認知症は、高齢者よりも男性が多かった。道が医療機関や介護事業所・施設などを対象に2012年実施した実態調査によると、若年性認知症の人は少なくとも道内に171人、オホーツク管内には58人いることが把握されている。

認知症の当事者が本音で訴えたい。認知症の当事者が本音で訴えたい。認知症の当事者が本音で訴えたい。